S　A　A

正ＳＡＡ　森田光春
副ＳＡＡ　大澤義則・木村諭智・小林健郎・中村和也
松﨑由誉・山本　誠

活動方針

例会進行が熊谷ロータリークラブの歴史と伝統に培われた品格と秩序を保ちながら、メンバー同士の友情が深められる交流、また楽しく運営ができるよう設営、会場監督をして参ります。

計　画

1．品格と秩序を保ちクラブメンバーが交流を深め楽しめる例会運営に努めます。
2．来客・来訪者が気持ちよく会員と交流できるよう努めます。
3．会長、幹事、各委員長と密に連携を図ります。

クラブ奉仕委員会

委員長　加藤公教
副委員長　小林　肇
委　員　大塚　崇・鯨井隆行・染谷政示・谷田雅彦
田野隆広・中島正義

活動方針

本年度ＲＩ会長ゴードンＲ.マッキナリー氏のテーマ「世界に希望を生み出そう」、第2570地区高丹秀篤ガバナーの地区スローガン「希望を語ろう」、熊谷ロータリークラブ田中会長のテーマ「継続の中に変化を」を踏まえて各委員会の活動がスムーズに行えるよう努力し、魅力ある例会の開催などクラブ運営が充実するように努めます。

計　画

1．クラブ奉仕に関する各委員会の開催に協力する。
2．魅力ある例会が開催できるよう支援する。
3．新規会員の増強につながるよう、ロータリークラブの認知度を高めることに協力する。

職業分類・会員選考委員会

委員長　染谷政示
副委員長　諏訪部享治
委　員　福島一也・本塚雄一郎

活動方針

長い間続いた、コロナ感染も収まり、今後新入会員が増える事を期待すると共に、入会後、当クラブの会員として相応しいか、共に活動ができるか等で選考したい。

計　画

1．会員増強委員会と協力して選考をしていく。
2．コロナ禍では親交を深めることが出来なかったので特にこの間に入会した人達の交流を深める。
3．より広い分野から入会できる環境を整える。

会員増強委員会

委員長　鯨井隆行
副委員長　井上　浩
委　員　井ノ瀬喜一・今井徹雄・門平忠一郎・渡辺　実

活動方針

クラブの更なる活性化と存続には会員増強は必要不可欠です。本年度も熊谷ロータリークラブに相応しい会員の増強を行って参ります。

計　画

1．本年度は増強５名を目指します。
2．職業分類・会員選考委員会と情報の共有化を図ります。
3．ロータリー情報委員会と連携し、入会後の育成に努めます。

ロータリー情報委員会

委員長　小林　肇
副委員長　木島一也
委　員　黒田小源治・合田裕章・前嶋修身・松本光弘

活動方針

「我磨く、事業も磨くロータリー」と本年度の地区研修協議会でお聞きしました。正にロータリアンとしての目指すべき道かと思います。又「入りて学び、出でて奉仕せよ」とも言われています。新入会員や会員に対して以上２点の観点から１年間情報の提供をしたいと思います。

計　画

1．RLI 方式（Q＆A）方式によるオリエンテーションの実施
2．会員へのRI 及び地区RCの情報提供
3．機会が有れば、講師例会の担当

出席推進委員会

委員長　中島正義
副委員長　鎌田千鶴子
委　員　新井　隆・飯島賢二・中澤　実・野澤久夫

活動方針

本年度、会長の「継続の中に変化を」に基づき、まず我が出席委員会メンバーの全員出席を目指します。その思いが、他のメンバーに伝わり、しいては出席率の向上に繋がり「継続の中に変化を」になるものと考えます。多くの会員の皆様に出席いただけるよう努めます。

計　画

1．例会出席の向上を図る。
2．無断欠席の防止に努める。
3．メーキャップを推奨する。

公共イメージ委員会

委員長　田野隆広
副委員長　半田真也
委　員　石渡一樹・荻野　智・菊地洋一

活動方針

会員に向けて、例会および各委員会の活動等を情報発信してまいります。そして、会員相互のコミュニケーションの充実を図るための取り組みを行います。

また、クラブ全体の活動を一般の人々に情報提供し、公共イメージの向上に努めます。

計　画

1．会報は、例会ごとに作成し、的確で正確な情報を発信します。
2．インターネットを活用した情報発信の推進を行います。
3．ロータリークラブの公共イメージ向上を図る手法を模索します。

親睦活動委員会

委員長　大塚　崇
副委員長　新井清貴
委　員　秋山恵一・太田　洋・内藤　司・馬場俊久
溝田義信・村上貴一・山口寿人・山屋貴裕

活動方針

希望を語るには元氣が一番。熊谷ロータリークラブの会員と会員家族同士が親睦と交流を深め、益々、元氣になるような親睦活動を行って参ります。

計　画

1．誕生祝い
2．結婚祝い
3．納涼例会
4．クリスマス家族会
5．親睦旅行他
6．引継ぎ例会

プログラム委員会

委員長　谷田雅彦
副委員長　森田康志
委　員　石垣伸明・金井陽一郎・福島雅也・八木橋宏貴

活動方針

田中会長が掲げる活動方針「継続の中に変化を」71年度を迎えた熊谷ロータリークラブとして、時代の変化に対応し、メンバーが生き生きと参加できる機会を創造していきます。

計　画

1．新入会員をよく知ってもらうために、イニシエーションスピーチを行います。
2．有識者から学ぶために、会員企業の特徴や特性に合った地域情報の提供を行います。
3．見識を広めるために、積極的な例会を実施します。

職業奉仕委員会

委員長　上林　寛
副委員長　島田彰雄
委　員　栗原良太・時田芳文・富岡　清・宮永大輔

活動方針

日本のロータリーの原点は「倫理観をもって職業を行うこと自体が奉仕」の精神を高め、自分と自分の職業を磨く事が職業奉仕であると思います。様々な機会を通じて職業奉仕の理解を深めながら魅力ある、そして活力あるクラブにしていきたいと思います。

計　画

1．「４つのテスト」の浸透を図る。
2．ファイヤーサイドミーティングの実施
　①会員企業の事業の発表の場とし親睦を深めていく。
　②職業奉仕を通じて地域社会と融和し貢献を考える。

社会奉仕委員会

委員長　長谷川貴春
副委員長　大石聡一
委　員　飯塚幸一・大島譲二・藤間憲一・平岡和喜

活動方針

「社会奉仕」は「地域社会奉仕（狭義の社会奉仕）」そのものであると考えます。その定義を踏まえ、委員会活動を推進して参ります。

計　画

1．「モラルアップ熊谷」の事業を継続しながら、より注目を浴びる掲載看板の設置場所を検討する。
2．地区のアイバンク事業への支援を継続する。
3．他クラブ・団体の活動の情報提供と研究を継続する。

ニコニコＢＯＸ委員会

委員長　西田善明
副委員長　重竹淳一
委　員　大澤孝至・坂田浩一・清水　晃

活動方針

今年度は、会長方針として「継続の中に変化を」と掲げています。ニコニコBOXも長く継続され、会員の喜びやお祝いの思いを紙面にのせて、自発的に拠金を行う事が行われてきました。そこで、報告の時間においても会員の思いをしっかりと伝える以外に、少しでも楽しく愉快なものとなるような変化を意識して企画・運営していく１年にしたいと思います。

計　画

1．会員の思いが正確に伝わりながら、楽しく愉快な時間となるように報告を行う。
2．奉仕活動の原資であるニコニコBOXに、ご協力をいただけるよう活動を行う。
3．１年を振り返り、総括するような機会を設ける。

国際奉仕委員会

委員長　松崎邦夫
副委員長　山本大祐
委　員　井埜利博・曽根和也・富田　満・山崎哲資

活動方針

長引く戦争により、多くの罪のない人々が命をなくし、また路頭に迷い支援を必要としています。日本に於いても北朝鮮からのミサイル発射の威嚇、石垣島から319kmしか離れていない台湾情勢等世界中危険な状態は続いています。ロータリーの国際奉仕とは国際理解、親善、平和を推進するための実践活動です。世界情勢を見極めて今後の熊谷ロータリークラブでの国際奉仕活動を検討します。

計　画

1．国際交流協会への協力
2．国際支援、援助活動の継続と考察
3．ポリオ撲滅に向かっての地域アピール

ロータリー財団委員会

委員長　原田　勲
副委員長　日向美津江
委　員　大久保和政・大谷公一・松浦紀一・吉田嘉高

活動方針

ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。崇高な使命を実現するためには意識を変えることが大切である。
「世界でよいことをするため」の基金とした設立ビジョンがあり、人の人生を変える活動として財団活動がある。世界は変わり続けていると言われております。新時代の要請に応えた応援・支援があると考え、「ジブンゴト」にした活動を行う。

計　画

1．会員に財団のプログラムの理解を深めていただく。特に海外派遣留学制度の理解、参加を促す。
2．会員がロータリー財団への寄付を行うようにする。
3．11月財団月間には財団プログラムへの参加を呼びかけ、促進をする。
4．補助金事業について、研究する。
5．ロータリー財団奨学金を学校機関に啓蒙する。

米山記念奨学委員会

委員長　田所　勤
副委員長　福島良浩
委　員　田久保眞理子・田中哲夫・福井千秋・古山祥道

活動方針

米山記念奨学会の事業遂行のため、会員の皆様に活動理念・意義を認識して頂き支援と協力をお願いしていきます。

クラブ全体での交流を通じてロータリーの活動や日本人の心に触れる機会を多く作り、学生生活だけでは体験できない人物、文化交流、地域参加へのサポートを行っていきたいと考えます。

計　画

1．米山記念奨学生の受け入れ、及び支援活動
2．寄付行為の内容を理解していただき、米山功労者の拡大を図る

青少年奉仕委員会

委員長　大川隆史
副委員長　石山洋一
委　員　岡部洋一・岡安哲也・並木謙一・松本喜久子

活動方針

ロータリアンにとって青少年の育成は課せられた大切な責務と考えます。我々委員会は、様々な奉仕活動を通じて青少年の基本的ニーズを支援してまいります。

次世代を担う青少年の資質の育成に尽力し、青少年がグローバルな世界観を持った人間として成長するよう支援と協力を行ってまいります。

今年度はコロナ旋風の出口も見えて参りましたので、一層の活動をめざします。

是非とも会員諸兄のご理解と協力をお願い申し上げる次第です。

計　画

1．少年野球大会「河野杯」の主催
2．インターアクトクラブへの支援
3．ライラ（青少年指導者育成プログラム）のPR

戦略計画委員会

委員長　西山秀木
副委員長　小林肇
委　員　大塚崇・柿沼伸幸・加藤公教・上林寛
谷田雅彦・田野隆広・長谷川貴春・前嶋修身
松﨑邦夫・森田光春

活動方針

2019～2020年度から５年間の国際ロータリー（RI）の戦略的目標は、ロータリーの戦略的優先事項と目的について、１.より大きなインパクトをもたらす、２.参加者の基盤を広げる、３.参加者の積極的なかかわりを促す、４.適応力を高める、と記載されています。その方針を取り入れながらクラブが、魅力があり、元気があり、個性があるように発展していけるためのビジョン(目指すべき将来像)について考えていきたいと思います。

計　画

クラブのビジョンについて考えていきたいと思います。そのためにクラブの現状を評価し、発展のための計画を作成したいと思います。